



ありがとう 快速深浦

ありがとう!
「快速」深浦号 ラストラン
JR深浦駅社員一同
町づくり応援隊 山くさかづ

46年の歴史に幕

県都青森市との直通列車として活躍した「快速深浦」。住民の貴重な交通手段として親しまれた列車は、多くの見送りの中、青森駅へ向け出発しました。

「健康」「自然」「食」をつなぐ

白神山地に代表される自然、豊かな食や農。都会では決して味わうことのできない日常が深浦にある。

広がりつつある医療・福祉と連携した森の癒しや地域食材を活用した取り組み。今一度深浦を見つめ直し、医食農連携について考える。

▼医食農連携の可能性は？

3月16日、医食農連携フォーラムが町民文化ホールで開催され、80名の参加者がこれからの医食農連携の方向性や森と食がもたらす栄養について、理解を深めました。

3回目を数えるフォーラムは2部構成で実施。始めに(株)キースタッフ代表取締役鳥巢研二氏、糖尿病専門医井関恵子氏、健康産業新聞企画開発室長眞鍋肇氏が医食農についてフリートーク。鳥巢氏の医食農連携事例の紹介に続き、井関先生が病気になる秘訣として、食過ぎを避けることを挙げ、その上で「その土地で旬の季節に採れる野菜や魚を食べよう」と提案しました。また、眞鍋氏は健康食品の状況につ



医食農連携について語る（左から鳥巢氏、井関氏、眞鍋氏）

いて「病気予防目的で国民の5割が摂取している健康食品市場規模は、来年の健康機能性表示の制度改正により、現在の1兆円から5年後の試算では倍増する」と語り「深浦の農水産物も何が有効なのかきちんと検証し、健康機能性を表示できれば、医食農連携や雇用にもつながる」と指摘しました。

▼深浦にはたくさん栄養がある

後半は、今春にオープンする十二湖森林セラピー基地事業に関連した講演を実施。始めに、森林セラピーの先進地である長野県信濃町ひとときの会長長鹿島岐子氏が、森の癒しについて講演。鹿島会長は「企業からの集客に加え、町民向けにも森歩きの講座等を開催し、プログラム開発につなげている。世界遺産に登録された深浦の強みは海



堀さんは深浦の海藻とマグロを絶賛 森の癒し効果を説明する鹿島さん



今年も多くの方がフォーラムに参加しました

恩師の言葉を胸に



祝 卒業

就職、進学を控え、期待と不安に胸躍らせる3月、町内の各学校で卒業式が行われ、168名の卒業生は、まっすぐ前を見つめて卒業証書を受け取りました。

式典では、来賓祝辞のほか、各校長から次のとおり式辞が送られました。

木造高校校長 笹浩一郎

「ふるさと深浦の良さは、離れて初めて感じるもの。深浦は変わることなくみなさんを迎える。ふるさとのためになる人材になるよう励んでほしい」

大戸瀬中学校校長 世永晃生

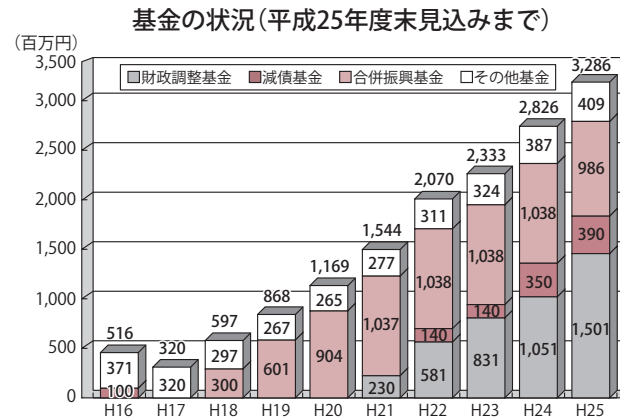
「夢につながる発想をすれば、嫌なこととも楽しくなる。世界に目を向けて活躍することを期待している」

いわさき小学校校長 柳澤弘幸

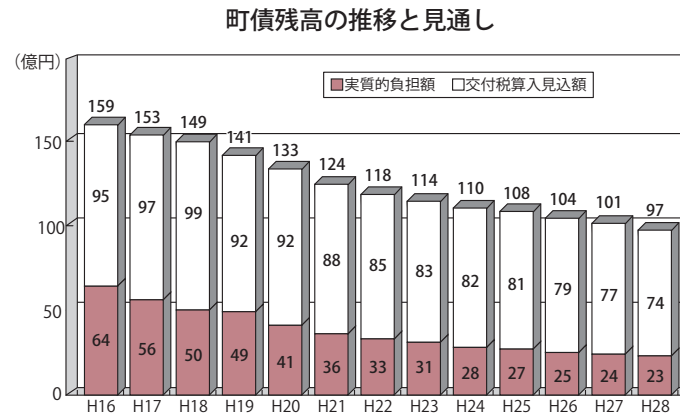
「壁にぶつかった時、乗り越えられるかは自分次第。どんな試練にも折れない強くたくましい心を持ってほしい」

心の支えとなり、背中を押してくれる言葉を得た卒業生。夢と希望あふれる新たな未来へ向け、確かな一歩を踏み出しました。

◆一般会計の基金（貯金）と町債（借金）の残高状況

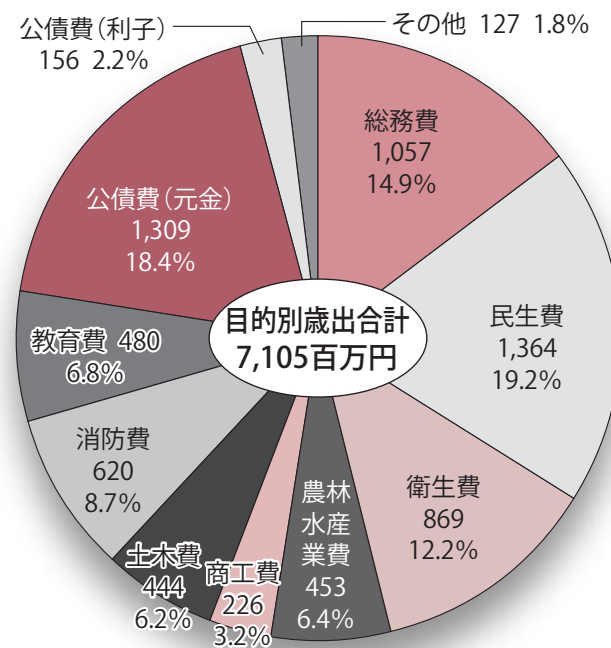


一般会計の基金は平成25年度末で約33億円となる見込みです。そのうち平成20年度まで枯渇状況にあった財政調整基金は約15億円、減債基金は約3億9千万円となる見込みです。



平成15年度をピークに年々減少しています。繰上償還の実施や、町債の発行抑制により今後も減少する見込みです。また、交付税算入見込額を除いた実質的負担額は平成25年度末で約27億円の見込みであり残高全体の約25%となっています。

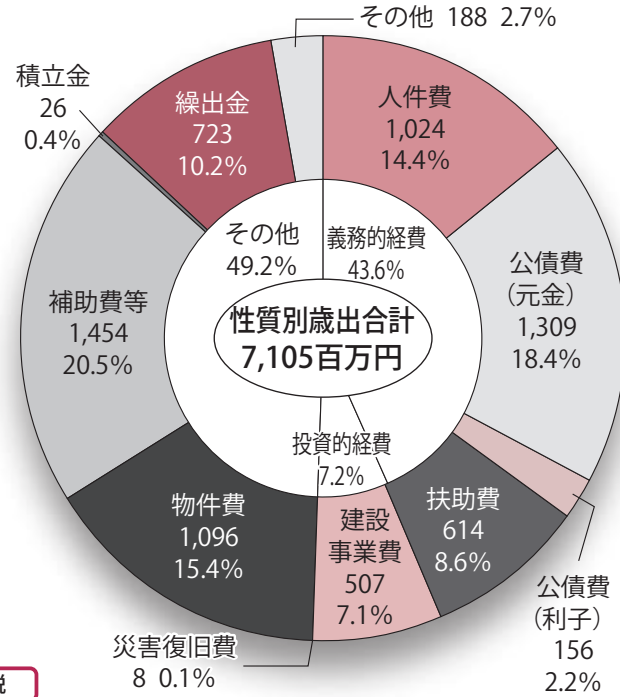
◆一般会計の概要 ～目的別歳出～



用語解説

- 総務費** 庁舎管理、戸籍業務、選挙業務などの通常必要とされる経費
- 民生費** 社会福祉、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などの福祉全般の経費
- 衛生費** 予防接種、健康診査、ごみ処理などを行うための経費
- 農林水産業費** 農業、林業、水産業のための経費
- 商工費** 商工業振興、観光振興のための経費
- 土木費** 町道、河川、公園などの整備や維持管理のための経費
- 消防費** 消防、防災のための経費
- 教育費** 小学校、中学校、公民館などの整備、管理運営のための経費
- 公債費** 町が借入れた借金の返済のための経費

◆一般会計の概要 ～性質別歳出～



用語解説

- 人件費** 議員の報酬、職員の給料などの経費
- 公債費** 町が借入れた借金の返済のための経費
- 扶助費** 高齢者、児童、障害者などを援助するための経費
- 建設事業費** 農道、町道、学校などの公共施設を建設するための経費
- 災害復旧費** 異常気象などにより被害を受けた公共施設などを修復するための経費
- 物件費** 施設維持管理のための電気料、委託料や一般事務のためのコピー代などの経費
- 補助費等** 一部事務組合への負担金や各種団体への補助金などの経費
- 積立金** 町が特定の事業を行うための基金などに積立て(貯金)をするための経費
- 繰出金** 国民健康保険の医療給付、介護保険のサービス給付、上下水道の維持管理などのために一般会計が負担する経費
- 義務的経費** 町の負担が義務付けられている経費で、人件費、公債費、扶助費がこれにあたります
- 投資的経費** 道路や学校などの公共施設の整備など、社会資本として将来に残るものの整備経費

平成26年度当初予算の概要をお知らせします

一般会計当初予算71億500万円

平成26年度の当初予算が3月定例会で成立しましたので、その概要と特徴をご紹介します。一般会計の歳入歳出予算は71億500万円で、前年度比0.3%の減となっています。建設事業費が大きく減少したものの、消費税が引き上げられることによる影響を緩和するための臨時福祉給付金や、防災対策などの予算増により、前年度とほぼ同額の予算となりました。

町では、借金の返済が減少傾向にあるものの、まだ多額であることなど、依然として厳しい財政状況にあります。事務事業の見直しなど引き続き行政改革を推進するとともに、限られた財源を有効に活用し、地域産業及び経済の活性化、地域福祉の充実など、町民の皆さんの安全・安心な暮らしに向けた取り組みを推進してまいります。

◆当初予算総括表

(単位：千円、%)

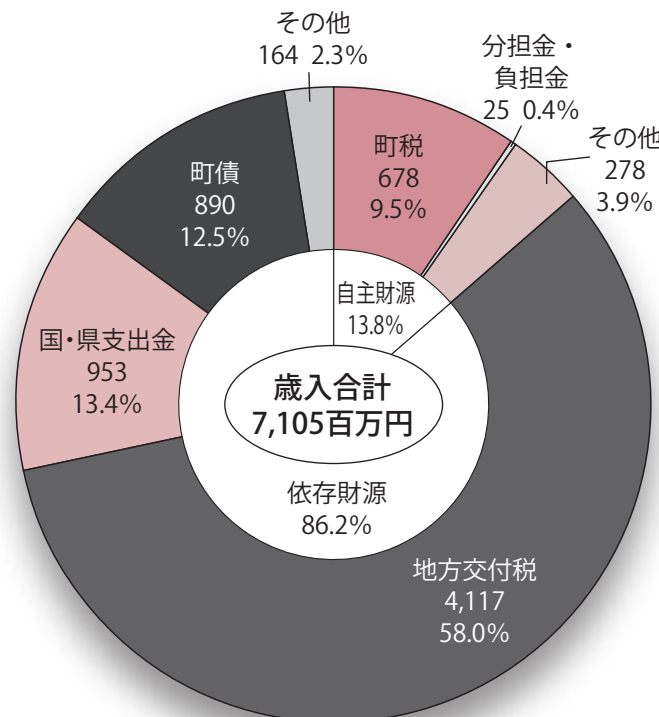
会計	平成26年度	平成25年度	伸率
一般会計	7,105,000	7,125,000	▲0.3
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	1,675,500	1,710,400	▲2.0
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	176,400	197,800	▲10.8
後期高齢者医療特別会計	122,400	110,000	11.3
介護保険特別会計	1,369,600	1,314,300	4.2
訪問看護ステーション特別会計	17,700	24,000	▲26.3
下水道事業特別会計	434,800	671,000	▲35.2
財産区特別会計	500	500	0.0
合計	10,901,900	11,153,000	▲2.3

水道事業会計	収益的収入	477,967	288,016	66.0
	収益的支出	482,621	419,115	15.2
	資本的収入	112,000	207,500	▲46.0
	資本的支出	299,722	286,266	4.7

用語解説

- 一般会計** 教育や福祉、土木や消防など町の基本的な仕事をするための会計で、皆さんから納付していただく町税、国からの地方交付税や補助金などが主な財源です。
- 特別会計** 一般会計と区別して特定の事業を行うための予算で、保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれ、「国民健康保険事業」や「下水道事業」などがあります。
- 水道事業会計** 地方公営企業法を適用しており、企業会計方式をとっています。

◆一般会計の概要 ～歳入～



用語解説

- 町税** 町が徴収している町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 分担金・負担金** 町が特定の事業を行う場合に、その経費の全部又は一部を徴収したもの
- 地方交付税** 国の税金(所得税、法人税など)の一部が町に配分されるもの
- 国県支出金** 町が特定の事業を行うために、国や県から交付されるもの
- 町債** 町が事業を行うための資金として長期で借入れる借金のこと
- 自主財源** 町税や基金繰入金などの町が独自に調達できる財源のこと
- 依存財源** 地方交付税や国・県支出金などの国・県により割り当てられたりする財源のこと

平成26年度深浦町職員名簿

総務課(14名)

職名	氏名
課長	八木 史
課長補佐	西崎 公慶
課長補佐	黄金崎芳幸
行政係長	西崎 良幸
財産管理係長	鹿内 謙三
消防防災係長	米谷 智明
主任主査	根上真紀子
主任主査	蝦名 一裕
主査	八木橋心一
主査	福沢 月宝
技師	関野 直人
主事	西崎 智人
主事補	福沢 海斗
主事補	黄金崎夏未

企画財政課(9名)

職名	氏名
課長	佐藤 洋一
課長補佐	小野 篤志
課長補佐(情報システム係長)	熊谷 利克
主(企画調整係長)	柳原 晋
財政係長	鶴田 繁樹
主任主査	西口 光洋
主査	山崎 信行
主査	山本 大輔
主査	五十嵐 航

町づくり戦略室(4名)

職名	氏名
室長	松沢 公博
町づくり戦略係長	神林 友広
主任主査	増富 勇人
主任主査	新岡 重将

税務課(14名)

職名	氏名
課長	岩谷 司
課長補佐	岩谷 強
課長補佐	神馬 昭仁
主(固定資産係長)	盛 嘉暢
主(収納係長)	中原 和洋
主(税務係長)	堀内 博志
主幹	萱森 惣七
主幹	小角 等
主任主査	清水谷 剛
主査	紀本 進
主査	脇本 憲士
主査	熊谷 一夫
主事	大船 泰朋
主事補	山下 幸菜

町民課(18名)

職名	氏名
課長	堀内 崇史
課長補佐	寺沢美千子
課長補佐(国民健康保険係長)	菊池 浩雅
主(総合窓口係長)	根上 幸喜
主(町民生活係長)	中原 恒久
主(福祉心れあい係長)	兼平 正春
介護保険係長	竹内 仁
主任主査	平澤 均
主任主査	平澤 典子
主任主査	山中 鉄夫
主任主査	伊東 信
主任主査	鈴木 一輝
主任主査	根上 義和
主査	熊谷 美希
主査	村上 公貴
主事	藤田 法子
主事	吉田 龍司

農林水産課(12名)

職名	氏名
課長	松沢 敬
課長補佐(畜産振興係長)	吉田 浩
課長補佐(林業振興係長)	三浦 良一
課長補佐	山本 淳
課長補佐	黒滝 秀晴
主(農業振興係長)	赤石 卓美
水産振興係長	工藤 宏昭
主任主査	福沢 久弥
主任主査	児玉 恵昭
主任主査	棟方 友裕
主査	小野 守
主事補	吉田 恵里

観光課(7名)

職名	氏名
課長	春藤 裕
課長補佐(商工振興係長)	一ノ関浩司
観光戦略係長	鈴木 治朗
主事	柏倉 貴宏
主事	三浦 羽美
主事補	佐藤 健吾
主事補	渋谷 東陽

十二湖エコミュージアムセンター(1名)

職名	氏名
主幹	松橋 将昭

建設課(9名)

職名	氏名
課長	村上 謙
課長補佐(建設係長)	熊沢 誠智
課長補佐	山下 秀一
主(漁港整備係長)	西崎 光二
主(管理係長)	伊藤 光彦
主(土地改良係長)	秦 賢一
主査	竹内 崇
主査	竹越 貴
主事補	島川 大生

水道課(10名)

職名	氏名
課長	吉田 高志
課長補佐	川村 博美
課長補佐	斉藤 稔
主(下水道係長)	堀内 昭一
主(水道係長)	森山 慎
主任主査	岩谷 拓士
主任主査	金沢 久史
主任主査	堀内 勇人
主任主査	吉田 慎
主査	大沢 幸幹

会計管理者(1名)

職名	氏名
会計管理者	赤平 郷親

会計課(3名)

職名	氏名
課長	秋元 勇
出納係長	岩森 睦子
主事補	柴田 史絵

岩崎支所(4名)

職名	氏名
支所長	三浦留美子
支所長補佐(総合窓口係長)	菊池 芳樹
主任主査	奥村賀津子
主任主査	菅原 航

大戸瀬支所(4名)

職名	氏名
支所長	鴨 正悟
支所長補佐(総合窓口係長)	藤沢 一臣
主任主査	清水谷 智子
主任主査	岩谷 博之

関診療所(9名)

職名	氏名
所長	綱島 紘治
医員	熊谷 紀史
事務長(兼務)	(小山 司)
次長	小野 聖司
包括支援係長(兼務)	(根上 守)
主任看護師	向井 久美
主任看護師	斉藤 恵子
主査	野呂 友彦
主事	中原 達彦
看護師	小島多希子
准看護師	藤田 清子

岩崎診療所

職名	氏名
所長(兼務)	(綱島 紘治)
主査(兼務)	(野呂 友彦)
主任看護師(兼務)	(斉藤 恵子)
准看護師(兼務)	(藤田 清子)

地域包括ケアセンター(8名)

職名	氏名
所長(兼務)	(綱島 紘治)
事務長	小山 司
次長(健康増進係長)	藪崎 修子
主幹	小野 規子
主幹	堀内美奈子
主任保健師	工藤 友美
主任主査	斉藤 徹伸
保健師	秋元 舞
保健師	平山 真耶

地域包括支援センター(3名)

職名	氏名
所長(兼務)	(綱島 紘治)
事務長(兼務)	(小山 司)
主幹	八木橋淑子
包括支援係長	根上 守
保健師	阿部 又亮

訪問看護ステーション(2名)

職名	氏名
主任看護師	佐藤 郁代
看護師	鎌田由美子

議会事務局(2名)

職名	氏名
事務局長	藤島 幹夫
主幹	吉田 緑

農業委員会事務局(1名)

職名	氏名
事務局長(併任)	(松沢 敬)
主査	浦谷 和敏

教育委員会(9名)

教育課

職名	氏名
課長	菊池 昭秀
課長補佐	八木橋兼喜
学務係長	古川 秀輝
社会教育係長	長谷川 賢
主任主査	吉田 一仁
主任主査	神馬 輝史
主任主査	笹森 公人
主事補	兼平 景一
主事補	小枝佳乃子

公民館(2名)

職名	氏名
館長	菊池 隆志
主幹	奥村 幸樹

歴史民俗資料館・美術館(2名)

職名	氏名
館長	宮本 満
主任主査	柴田喜多子

太宰の宿ふくら文学館(1名)

職名	氏名
館長(兼務)	(宮本 満)
館長補佐	木村 明人

派遣(3名)

職名	氏名
深浦町農業振興公社	山本 昭彦
青森県	一戸 卓磨
つがる西北五広域連合	兼平 光将

再任用(2名)

職名	氏名
税務課専門員	菊池 元伸
農業委員会専門員	棟方かよ子

平成26年度当初予算の主な事業

～総務費～

つがる西北五広域連合立病院運営事業 事業費 58,176千円
連合立病院(5医療機関)の運営負担金

各地区街灯LED化事業 事業費 19,340千円
各地区街灯のLED化(3ヵ年計画)

森林セラピー基地整備事業 事業費 9,715千円
十二湖地域における、健康と自然と食による誘客促進を図るための森林セラピー基地の整備(今年度春オープン)

緊急避難路整備事業 事業費 34,100千円
北金ヶ沢地区、かそせいか焼き村に緊急避難路を整備

～民生費～

臨時福祉給付金支給事業 事業費 87,150千円
町民税が課税されていない方々へ一人あたり10,000円を支給、高齢基礎年金・障害基礎年金などを受給している場合は5,000円を加算(ただし課税者に扶養されている方は対象外)

地域介護・福祉空間整備事業 事業費 30,000千円
小規模多機能型居宅介護施設を設置する事業者への補助金

子育て世帯臨時特例給付金支給事業 事業費 7,550千円
児童手当を支給されている方で、町民税が課税されている世帯へ児童一人につき10,000円を支給

児童手当支給事業 事業費 89,520千円
0歳～3歳未満の幼児には月15,000円、3歳～小学生の児童には月10,000円、(ただし第3子以降の児童には月15,000円)中学生に対し月10,000円を支給(所得制限を超える場合は一律月5,000円)

～衛生費～

子ども医療給付事業 事業費 12,293千円
小学生までの子どもにかかる医療費の自己負担分を全額補助

合併処理浄化槽設置事業 事業費 17,640千円
合併処理浄化槽設置費用の助成(7人槽1基あたり441千円を助成)

海岸漂着物対策推進事業 事業費 15,100千円
監視員を配置するとともに、年間を通じて海岸漂着物の清掃・処理を行う

健康増進事業 事業費 33,688千円
各種健康診査の実施
今年度から受診者負担金を無料化

～農林水産業費～

有害鳥獣駆除対策事業 事業費 18,430千円
猟友会への駆除委託や会員の育成確保などの有害鳥獣対策経費(鳥獣被害対策実施隊員を2名増員し4名体制)

西海岸広域農道整備事業 事業費 32,190千円
西海岸広域農道整備に対する県への負担金(負担率10.05%)、用地購入費など

黒崎地区農地整備事業 (負担金) 総事業費 84,175千円 H26事業費 15,925千円
効率的な農業経営のための農地の区画整理事業に対する県への負担金(負担率17.5%)
(事業期間 平成25年度～平成29年度)

農村地域防災減災事業 事業費 8,440千円
ため池の一斉点検(受益面積0.5ha～2.0ha)及び下流域に影響度の高いため池についてハザードマップを作成

新規就農総合支援事業 事業費 14,250千円
新たに農業を始める人に対する支援

林道築棒沢宮崎線開設事業 総事業費 303,991千円 H26事業費 33,751千円
林道築棒沢宮崎線の開設
利用区域67.22ha、計画延長2,560m
(事業期間 平成26年度～平成30年度)

漁港整備・機能保全事業 (負担金) 事業費 22,600千円
北金ヶ沢漁港及び岩崎漁港の整備・機能保全事業に対する県への負担金(負担率10%)

～衛生費～

子ども医療給付事業 事業費 12,293千円
小学生までの子どもにかかる医療費の自己負担分を全額補助

合併処理浄化槽設置事業 事業費 17,640千円
合併処理浄化槽設置費用の助成(7人槽1基あたり441千円を助成)

海岸漂着物対策推進事業 事業費 15,100千円
監視員を配置するとともに、年間を通じて海岸漂着物の清掃・処理を行う

健康増進事業 事業費 33,688千円
各種健康診査の実施
今年度から受診者負担金を無料化

～土木費～

道路ストック事業 事業費 23,000千円
町道の路面性状調査、橋りょうの点検、法面・擁壁の点検などを実施

雪害対策事業 事業費 142,779千円
冬期間の除雪経費及びロータリー除雪車の購入経費

～消防費～

消防救急無線デジタル化事業 (負担金) 事業費 234,750千円
消防救急無線デジタル化事業に対する鯉ヶ沢地区消防事務組合への負担金

消防屯所整備事業 事業費 12,863千円
苗代沢地区消防屯所の新築

消防センター整備事業 事業費 18,647千円
岩坂地区において、消防屯所にデジタル無線局舎を併設した施設を整備

空き家等対策事業 事業費 1,673千円
倒壊による事故などを防止するため、対象物件の解体費用を助成

～教育費～

スクールバス購入事業 事業費 20,094千円
大戸瀬中学校スクールバス(晴山・田野沢線)の購入

放課後子ども教室推進事業 事業費 8,147千円
深浦・大戸瀬・岩崎地区の3ヵ所に放課後子ども教室を開設(今年度から長期休暇の際の開設時間を拡充)

学校給食事業 事業費 75,960千円
町内のすべての小中学校において実施される、学校給食のための経費

～土木費～

住宅リフォーム推進事業 事業費 9,000千円
耐震補強やバリアフリー改修などの住宅リフォームを支援(1件あたり最大30万円)

町道側溝等整備事業 事業費 13,339千円
東野地区の路肩整備などを実施

町道北金ヶ沢17号線橋梁替事業 総事業費 150,000千円 H26事業費 72,000千円
閑地区小童子橋の架け替えを実施
(事業期間 平成25年度～平成27年度)

町道関17号線道路改良事業 総事業費 40,000千円 H26事業費 20,000千円
西海岸広域農道に連結する町道の改良を実施
(事業期間 平成26年度～平成27年度)

～その他～

診療所運営事業 事業費 173,138千円
関診療所及び岩崎診療所の運営経費(医師2人体制により運営)

轟木・追良瀬地区簡易水道基幹改良事業 事業費 118,850千円
轟木・追良瀬地区の簡易水道基幹改良事業実施(送水管布設、給水管切替など)

北金ヶ沢地区漁業集落排水施設整備事業 事業費 288,000千円
北金ヶ沢地区の排水施設整備を実施(浄化センター整備、排水管布設)

3/28 色彩あふれる深浦がスラリ

昨年6月から募集していた「2013ふかうら白神と夕陽の町フォトフェスティバル」審査会が、町民文化ホールで行われました。

応募総数458点の作品は、深浦の四季折々の情景を色鮮やかに表現。町や観光協会、JR秋田支社など選考委員が入賞作品選定に頭を悩ませるほど、レベルの高い作品が多く見受けられました。

なお、入賞者は次のとおり。

グランプリ

「黄金の輝き」 平山孝夫さん（五所川原市）

準グランプリ

「春色白神」 工藤雅巳さん（弘前市）

「荒れる海の千畳敷海岸の夕陽」

中島 亮さん（鱒ヶ沢町）

入賞

「ハマナスの花咲く岬を走るリゾート列車」

米森由丸さん（秋田県八峰町）

「日本海の華」 山上敏昭さん（青森市）

「舟作大農園」 船水亮平さん（弘前市）

「湖畔」 山形雅清さん（弘前市）



観光の顔となる写真を選ぶ

入賞

「夕焼けの白神岳」

増美芳隆さん（東京都杉並区）

JR秋田支社特別賞

「昔日に馳せる」 神 競一さん（鱒ヶ沢町）



びっしりとしたワカメを収穫

3/28 全部で231kg!

平成25年度マリンキッズの最後の活動となるワカメ収穫作業が、北金ヶ沢漁港で行われました。

参加した16名の子どもたちは、さっそく漁港内の海洋牧場へ移動。昨年11月に取付けたワカメは、約2mの長さ立派に成長、収穫量も231kgと今年は豊作の結果となりました。

1年間を通したマリンキッズ活動で、子どもたちは深浦の自然の素晴らしさを体験。海を相手に工夫し、考えて行動することを学んだ子供たちの更なる成長が期待されています。

「ライフイノベーションアワード(AOMORI)」を受賞

このほど、町で取り組んでいる多機能小型車両「ヘルスプロモーションカー（愛称：すこやかカー）」の実証活動に対し、青森県から「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」サービス部門賞が贈られました。

これは、ライフ（医療・健康・介護）関連分野で新事業や産業創出に貢献する優れた取り組みを行っている個人・団体を表彰するもの。今回の受賞は、当町の実証活動が新たな医療サービスの先駆けとなると評価されたものです。



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

ウォッチング

3/14 快速深浦ラストラン

春のダイヤ改正で廃止される快速深浦を目に焼き付けようと、町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」が最後の勇姿を見送りました。

快速深浦は、深浦駅と青森駅の直結路線。乗換なしで青森市に行くことができ、今ほど道路が発達していなかった頃は、都市部と深浦を結ぶ手段として重宝され、46年に渡り利用されてきました。

8名の乗客を乗せた最後の快速深浦が出発すると、ホームに集まった人たちは、姿が見えなくなるまで手を振り続けました。



お疲れ様と手を振る



元気な幼虫見つけたかな？

3/24 カブトムシの幼虫にさわられた!

4月1日の全館フルオープンに先がけ、町内の保育園年長児37名によるカブトムシの床入式が、ウェスパ椿山昆虫館で行われました。

園児たちは、自分の名前入りの専用瓶に腐葉土を入れた後、元気に動く幼虫を捕まえ、そっと瓶に床入れました。

幼虫が苦手な子も多かった子がいたものの、勇気を出して全員が無事に床入れ。夏には成虫に羽化する瓶を見つめ、園児たちは「元気に育ってね」とカブトムシの成長を願いました。

3/24 災害時の福祉避難所設置協定を締結

町と特別養護老人ホーム桃の木、はまなす荘及びサント園は、災害発生時の要援護者等の支援を目的とした福祉避難所設置協定を締結しました。

この協定は、指定避難所での生活に支障を来す恐れがあると判断した一人暮らしの高齢者などを、福祉施設内に設置された避難所で受け入れるもの。福祉避難所設置者は、介助員の配置や日常生活の支援を行うこととなっています。

協定締結を受け、災害発生時の要援護者等の的確な支援が期待されています。



要援護者支援で団結する施設関係者

ふかうら いいね!👍

Good Job! Fukaura

●●飯島 正和さん●●

(3区)

まもなく迎える春の観光シーズン。世界自然遺産登録20周年を経過し、五能線や十二湖を目当てにくる観光客をもてなそうと、日々奔走する深浦町観光協会事務局飯島次長にお話を伺いました。



100万人の観光客に対応

夕陽のきれいな海岸線、気軽に白神山地を体感できる十二湖など、年間観光入込客が100万人を数える深浦。海にも山にも恵まれたここ深浦を訪れる観光客からの問合せに対応しているのが町観光協会です。観光協会は風待ち館の中に事務所を構え、風待ち館の指定管理のほか、深浦、十二湖駅で観光案内を行っています。

多くの観光客が深浦に感じる魅力の1つとして、飯島次長は「五能線のネームバリューの高さ」を挙げています。今や全国区の人気となったリゾートしらかみ。土日はなかなか予約が取りづらく、中でも深浦～十二湖駅間は一番の人気区間となっています。

飯島次長も出張や観光の際は、よくリゾートしらかみを利用してのようで、車窓から眺める景色を見てると心が和むとのこと。おすすめポイントは深浦から千畳敷駅までの区間で「海が間近にせまるような場所を走る路線はなかなかない。車社会の今こそ町民が五能線に乗ってみて」と言います。景色の良さ、深浦の良さをあらためて知ることが、観光客を迎える上で必要なおもてなしの心につながると、長年観光に携わってきた飯島次長らしい提案です。

広域連携で更に誘客を

町民のおもてなし力の向上もそうですが、これからの地域全体の魅力を向上させるにはどうしたらいいのか。交通の便が悪いこの地域に誘客を図るための打開策の1つとして、平成21年に深浦町、鯉ヶ沢町、秋田県八峰町の観光協会が連携し「ルート101観光連絡協議会」を設立しています。

3町とも国道101号とJR五能線及び世界自然遺産白神山



3町のイベントで実施しているあみ引き合戦

地を共有し、地形も生活文化も似ている地域。東北新幹線全線開業を契機に設立された同協議会は、地域への誘客の増加と観光産業による地域経済活性化を目指し、様々な活動を行っています。

主なものとしては、3町で開催されるイベントへの出店はもちろん、エリア全体のPRを兼ねた首都圏での物販、スタンブラリー、そして観光的県境を賭けた『国盗りあみ引き合戦』があります。日本全国に綱引きは数あれど『あみ引き』はなかなか無いようで、子どもたちを巻き込んで地域の名物行事にし、将来的には3町連携のイベントを手掛けたいと飯島次長は考えています。

そして、今年も何やら面白い事業を検討している様子。飯島次長は「JRとも詳細を協議する必要があるが、五能線を利用した街コンを開催したい」と話し、地域活性化への話題づくりに余念がありません。

「地域の宝」とともに観光を盛り上げる

広域連携による地域活性化の取組みのほか、町観光協会ではチャンチャンまつりやグルメinふかうらなど、様々なイベントを仕掛けています。町内はもちろん町外の方にも広く認知されているこれらのイベントは、町の活性化に役買っているものの、さらに活性化を進めようと飯島次長は「地域の宝」である子どもたち、とりわけ高校生に活路を見出そうとしています。

きっかけは昨年12月の地域魅力塾講演会。ドラマ化された「高校生レストラン」の仕掛人や高校生とハンドクリーム作りに取り組んだ製薬会社社長の講演に感銘を受け、深浦の強みである観光を高校生たちと盛り上げる構想を持っています。

その上で飯島次長は「深浦校舎の生徒たちは非常に素直。少子化による問題は避けては通れないが、素材溢れる深浦で観光産業の体験実施など、『未来の大人たち』である高校生たちと観光をリンクさせた地域おこしを目指したい」と、今後の抱負を語ってくれました。

春の観光シーズンはもうすぐ。広域連携から独自の取組みまで行う観光協会に、観光による地域づくりのリーダーとして大きな期待が寄せられています。

3/10 西海岸の食を地域ブランドに

食による観光まちづくりの広がりを目指した県主催の「あおり西海岸白神の食フォーラム」が、町民文化ホールで開催されました。

フォーラムには観光、飲食業などから約60名が参加。お馴染みのヒロ中田氏による講演では、マグステ井の成功の秘訣として、提供店、事務局等のチームワークが良く、風通しの良いチームになったことを挙げました。

続いて、杉澤廉晴鯉ヶ沢町観光協会長が「ヒラメのツケ井」について紹介。参加者は互いの事例を通して、食のブランド化へ理解を深めました。

また、全国組織の「食による観光まちづくり推進協議会」が選ぶ平成25年度最高賞に「深浦マグロ料理推進協議会」が選ばれたことを受け、吉田町長に表彰状が贈られました。



互いの事例に耳を傾ける



表彰状を手に満面の笑み(右：ヒロ中田氏)

バレーボールで心地よい汗

バレーボール愛好者同士の交流とレベルアップを図ろうと2月から3月にかけて、2大会が開催され、参加者ははつらつとプレーし、心地よい汗を流しました。このうち、会長杯は大会初参加のWVCが優勝、大池杯はTEAM★とりしんが連覇達成。それぞれ、チームワークの良さや高い技術を披露しました。なお、大会結果は次のとおり。



会長杯初優勝のWVC



大池杯で優勝したTEAM★とりしん

会長杯争奪ナイターバレーボール大会

- 優勝 WVC
- 準優勝 けんていーず
- 第3位 進撃の川村

大池杯争奪バレーボール大会

- 優勝 TEAM★とりしん
- 準優勝 ライオネット警備保障株式会社
- 第3位 パワフルママ

ウェスパ WeSpa 椿山 物産館コロボックル

産直品出品者大募集

山野菜 魚介類 工芸品 手芸品 などなど

お問い合わせは WeSpa 椿山 物産館コロボックル
お申し込みは 電話: 0173-75-2261 まで

深浦町民 限定だよ!

販売手数料20%
ラベル代無料
年会費無料

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター在籍店

株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service

電話 (74) 4536 FAX: 74-4546

ご用命は 任せて安心の

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で!
[一般貨物自動車運送事業(霊柩)第497号]
365日・24時間受け付けております。

* * * 診療所医師として最後のエール * * *

このほど、3月末で退任する柳善佑医師、山田悦輝医師に対し、青森県及び町から感謝状が贈られました。

柳医師は11年間、山田医師は2年間町の診療所で勤務。土日や夜間も関係なく住民の健康のため奔走し、地域医療を守る「おらほの先生」として親しまれてきました。

感謝状を受け取った柳医師は「深浦で外科以外のことを学んだように、人脈や技術習得のため、短期間でも県外で勉強してほしい」と、県内の医療従事者へ向けてエールを送りました。



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター 岩村有泰先生
市浦医科診療所・所長



成人用肺炎球菌ワクチン予防接種のすすめ

インフルエンザの予防のために、インフルエンザワクチンの予防接種を毎年受けておられる方が多いと思いますが、肺炎を予防できるワクチンがあることはご存知でしょうか。

肺炎は日本人の死因の第3位です。しかも、肺炎により亡くなる方の95%以上が65歳以上です。今後、高齢者人口の増加により、肺炎になる方や肺炎で亡くなる方もますます増えると考えられています。

日常でかかる肺炎は、主に細菌（最も多い原因菌が肺炎球菌）やウイルスなどが肺に入り込んで起こる肺の炎症です。肺炎の原因となる細菌やウイルスは、人の体や日常生活の中に存在しています。高齢だったり病気があったりして、抵抗力が弱まった時などに感染を起こしやすく、重症化すれば死に至ることもあります。

肺炎を予防する方法を次にあげます。

- ①細菌やウイルスが体に入り込まないようにする。
(1) マスク、手洗い、うがいをする。

- (2) 歯磨きなどで口の中を清潔にする。
(3) 誤嚥（飲み込むことがうまくいなくなり、飲食物や唾液が食道でなく気管に入ってしまうこと）を防ぐ。

②体の抵抗力を強める。

- (1) 禁煙をする。
(2) 規則正しい生活をする。
(3) もともと持っている病気を治療する。

③予防接種をする。

成人用の肺炎球菌ワクチン予防接種は65歳以上の方が接種できます。また、過去に接種している方も5年以上経過している場合は再接種が可能です。また、新しい情報として、今年の秋から成人用肺炎球菌ワクチンが、自治体が行う定期予防接種に加えられることに決定しましたので、接種料金の補助が受けられる見込みです。接種を希望される方は今後、広報等をご確認ください。

たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666
http://www.takekuma-vet.com/

◎診療時間

月	火	水	木	金	土	日・祝日	
午前	9:00~12:00	〇	〇	10:00 12:00	〇	〇	10:00 12:00
午後	3:00~6:00	〇	〇	3:00 5:00	〇	3:00 5:00	1:00 3:00

※30分前までは終了の受付時間です

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

入院施設有

往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査・健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)



すこやか

地域包括支援センターの相談窓口を 岩崎地区に開設しました！



4月から岩崎地区に、高齢者やその家族からの介護、福祉、生活支援に関する相談に応じるため、身近な相談窓口を設置します。

【相談窓口設置場所】

社会福祉法人 はくしん会 サンタ園

(岩崎字松原57-2 ☎77-2020)

高齢者の相談は地域包括支援センターへ！

例えば・・・

～ 介護や健康のこと ～

〈相談例〉

- ・介護保険について知りたい
- ・最近、足腰が弱ってきたので、デイサービスを利用したい
- ・今の健康を維持したい

～ 権利を守ること ～

〈相談例〉

- ・親に軽い認知症があるので、悪質な訪問販売にあわないか心配
- ・一人暮らしなので、この先、認知症になった時の財産管理が不安
- ・近所に住む高齢者が虐待されているみたいで心配

～ さまざまな相談ごと ～

〈相談例〉

- ・近所に住む一人暮らしの高齢者が、閉じこもりがちで心配
- ・近所のおばあちゃんが最近、徘徊をされていて心配



どんな悩みごとでも、一人で悩まずに
ご相談ください！

深浦町地域包括支援センター(関診療所隣り)
深浦町大字関字柝沢78-2 ☎76-2042

この社会あなたの税がいきている

西北五税務関係団体協議会は、税知識の正しい理解と普及、納税道義の高揚を目的として、右記の団体で構成されています。

- ・五所川原商工会議所
- ・西・つがる商工会連絡協議会
- ・北五地城商工会ブロック会
- ・東北税理士会五所川原支部

- ・五所川原税務署管内
青色申告会連合会
- ・社団法人五所川原法学会
- ・五所川原開明会

- ・五彰会
- ・北五小売酒販組合
- ・鯉ヶ沢小売酒販組合
- ・五所川原税務署管内
農業青色申告会連合会

西北五税務関係団体協議会

申告所得税の口座振替日は4月22日(火)、個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告の口座振替日は4月24日(木)です！ 事務局(五所川原商工会議所内) 0173-35-2121(寺山)

深校だより

平成25年度卒業式

3月3日、卒業証書授与式が行われ、26名が学舎を巣立ちました。式では、清野暢邦県教育委員と吉田満町長より祝辞を頂きました。

また、送辞を生徒会長の熊谷直樹君、答辞を黄金崎夏未さんが務めました。答辞の中で黄金崎さんは、高校三年間を振り返り、お世話になったご両親や周囲の方々への感謝の思いを訥々と語り、卒業後は地元深浦町のためにできるかぎり貢献していきたいとの決意を述べました。

今年度の卒業生の進路は、4年制大学5名（青森公立大学2名、青森県立保健大学1名、青森中央学院大学1名、ノースアジア大学1名）、短期大学1名（東北女子短期大学）、専門学校等3名（函館歯科衛生士専門学校1名、日本宝飾クラフト学院1名、東北職業能力開発大学



校青森校1名）、公務員1名（深浦町役場）、就職14名（県内2名・県外12名）、就職進学1名（国際医療管理専門学校）です。

各々のさらなる活躍を祈ります。

平成26年度 入試合格者29名

3月5日、14日の両日、平成26年度県立高等学校入学選抜（前期・後期）が行われ、29名が合格しました。合格発表の日には、発表の瞬間を待っていた生徒が集まり、結果を見て明るい笑顔を浮かべていました。

4月6日には入学式が予定されています。教職員一同、力を合わせ一人ひとりの成長をお手伝いしたいと考えています。新入生のみなさん、合格した日の喜びを忘れずに頑張ってください。

4・5月の行事予定

- 4月14日(月) P.T.A・後援会・協賛会役員会
- 4月16日(水) 部活動組織会
- 4月17日(木) 耳鼻科検診
- 4月21日(月) P.T.A・後援会・協賛会総会
- 4月24日(木) 生徒総会
- 5月7日(水) 交通安全教室

町民文化

大数珠と廻す輪の中春立ちぬ
春近し止まっままのあの時計
血圧に変動のなき春来る
春眠と目覚しの音もてあそぶ
諸々の浄化も終へて春来る
来る春に水門ぐいとかうべ上げ
紅梅や旧家の壁に古時計
日御伸ぶぐつと堪える腹時計
朝寝坊の悪魔を祓ふ鳩時計

俳句

蒲田 吟 竜
田浦 木乃実
草野 瑛子
乳井 光昭
村上 鮎里朗
石田 かつら
坂本 りき
山本 正一郎
草野 力丸

編集後記

高校時代は通学や青森への買い物など、快速深浦にはいろいろと思いがあります。そして、同じく廃止となった寝台特急「あけぼの」。この特急にも忘れられない出来事がありました。

10数年前、新婚旅行へ出かけるため青森空港に行ったところ、まさかの濃霧欠航。翌日9時に成田空港に集合しなければならず、当日取れたチケットが「あけぼの」でした。

揺れと音がすくなくてなかなか寝られませんが、無事新婚旅行に行くことができたのは「あけぼの」のおかげです。そんなことを思い出させてくれた快速深浦。たまには、五能線に乗ってどこかへ出かけてみようかなと考えています。

今月の一冊

大卒の宿
みかづち文学館
『日本全国「ローカル缶詰」
驚きの逸品36』

驚きの逸品36

黒川勇人／著
講談社／刊

このコーナーでは、太宰の宿ふかづち文学館がお薦めする書籍を紹介しています。

「缶詰博士」の名を持つ著者が、全国各地で作られているご当地缶詰の魅力余すところなく述べた一冊です。

著者は缶詰を実際に食し、その味について語るだけではありません。パッケージデザインや中身の詰められ方についても言及し、時には製造会社を取材して、原材料や製造過程に至るまで仔細に教えてくれます。

紹介されているのは、ツナやコンビーフといった馴染みの深いものか



ら、鯛、うに、ふぐのような高級食材の入ったものまで様々です。製造に携わる社員からの声も載っており、作り手のこだわりや工夫についても知ることが出来ます。

希望小売価格や購入方法、問い合わせ先も紹介されているので、買いたくなったときにも役立ちます。

ローカル缶詰の中には、ご当地料理や特産物、そして会社独自の魅力がぎゅっしり詰まっていることを教えてくれる、おすすめの本です。

お詫びと訂正

先月号の著者、発行元に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤 ミシマ社／編・発行
正 篠原フミハル／著
芳文社／刊

戸籍の窓

2月21日～3月20日までの戸籍届出

お誕生おめでとう

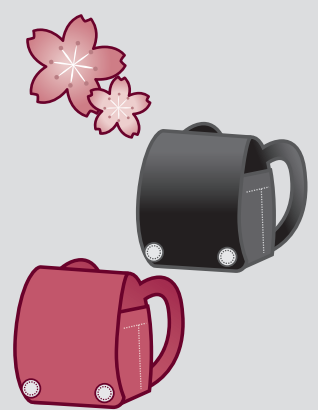
西崎 達毅(達乃)横磯
吉田 春輝(朝美)轟木
秋穂 陽哉(繁樹)正久

おくちみ申し上げます

上田 たゑ(77歳) 5区	一戸 みつゑ(88歳) 12区	鈴木 あさ子(84歳) 長慶平	堀内 昭一郎(81歳) 広戸	田中 キミ子(80歳) 松原	坂本 愛子(76歳) 轟木	三浦 千トセ(92歳) 風合瀬	長尾 武志(85歳) 田野沢	山崎 国隆(61歳) 北金1区	根上 つさ(94歳) 北金2区	古川 りり子(52歳) 北金3区	木村 ヤヨ(95歳) 関	原田 榮子(72歳) 正久
---------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	---------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	------------------	--------------	---------------

ご結婚おめでとう

平岡 康春(塩見崎)
葛西 有希(鰯ヶ沢町)
世永 翼(北金3区)
山本 沙希(風合瀬)



深浦町の人口と世帯

《3月末現在》()内は前月比

男 …… 4,394人 (-30)

女 …… 4,919人 (-33)

計 …… 9,313人 (-63)

世帯数 3,901世帯 (-12)

深浦町の総面積 488.86km²



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

えの木保育園のなかよしたち
「ぼくの大すきなもの」

やまだ ゆうきくん (5さい)



深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■榎■

深浦町の鳥



■カモメ■

2013ふかうら白神と夕陽の町フォトフェスティバル作品紹介

フォトフェスティバルでグランプリ、準グランプリを受賞した作品を紹介します。
入賞作品は、今後立ち上げる観光ポータルサイトへの掲載や観光情報誌に使用したり、ポスター製作に活用したりする予定となっています。



グランプリ 「黄金の輝き」
平山孝夫さん(五所川原市)



準グランプリ 「春色白神」
工藤雅巳さん(弘前市)



準グランプリ 「荒れる海の千畳敷海岸の夕陽」
中島 亮さん(鱒ヶ沢町)